

京林大だより

No.61



絵：卒業生 熊走君

第11期生16名が入学しました

令和4年4月5日、林業大学校森林林業科の入学式を挙行し、第11期生16名が林大生活のスタートを切りました。

森校長から「本校の教育理念である『自然を尊敬できる人間を育てたい』とは、自然の摂理を理解し、自然にあらがうことなく、自然を活用できる人間を育てたいということであり、いま、世界で求められている持続可能な開発目標であるSDGsの精神そのものである。」と述べられ、「この高い理念の元に集まったことに、誇りと自信を持って歩んでください。」とエールが送られました。

新入生代表は「恵まれた素晴らしい環境の中で多くのことを吸収し、それぞれの目標に向け成長していきたいと思えます。」と宣誓しました。

入学生の出身地は京都府内13名（京都市7名、宮津市1名、京丹後市1名、南丹市1名、笠置町1名、伊根町1名、与謝野町1名）、府外3名（大阪、兵庫、福岡）になっております。

これから二年間、地域の方々や林業関係者の方には、いろいろとお世話になりますが、どうかよろしくお願いいたします。



校門の桜の前で



新入生宣誓

心身を鍛える日本海ウォーキングを開催

毎年、1年生、2年生相互の連帯感の醸成と山に親しむことを目的に、年度の始めに実施している「日本海ウォーキング」。

今年はコロナ禍のため宿泊はなくなりましたが、4月21日（木）、22日（金）の2日間をかけて行いました。

1日目は夕方に雨もありましたが、2日目は晴天に恵まれ、元気に大江山を縦走し天橋立まで約50kmを走破することができました。



天橋立にて

「特別研修1.2:里山ウォーキング」

4月13日（水）、新入生と2年生との交流促進と林大周辺の環境に早くなじんでもらうことを目的とする「里山ウォーキング」を開催しました。

毎年、新入生歓迎行事の一環として開催しており、新入生と2年生が1人ずつのペアとなり、京林大周辺の約5kmのコースを徒歩で散策した後、道中に設定されたクイズの回答と想定時間とのタイム差による順位ごとに色々な賞品がもらえる、という内容です。一緒に歩きながら学校や普段の生活について質問したりアドバイスすることで、学校生活への不安解消や学生間の相互理解、学年間の交流促進に役立つ行事となっています。

快晴の下、学生諸君は恵まれた環境と季節を十分に感じる事ができたと思います。



里山散策中



賞品選択中

今月の授業参観

『林大入門』山を歩いて用語を知る

4月6日（水）、山の用語は山で学ぶのがいちばん。

1年生は入学式翌日に京林大に近い「タカタラビ林道」を歩き、尾根と谷、斜面と法面、森林所有者、スギ・ヒノキ・アカマツ、人工林と天然生林、間伐と皆伐、水源利用など実物を前に用語を解説しました。

併せて野外や工場見学で使用する「イヤールシーバー」の使用方法を伝えました。



2022/04/06



校長室より

お世話になりました

前校長 森 敦司

山々が新緑の清々しい季節を迎えました。本校も4月5日に新入生16名を迎え、新年度が始動したところですが、この度、私こと森敦司は、この4月30日をもちまして定年を迎えることとなり、退職いたしました。

令和2年4月に本校に赴任して以来、振り返ればコロナに振り回された2年間でありましたが、地域や関係の皆様方に御支援をいただき、なんとか教育活動の歩みを止めることなく進められたことに感謝しております。

今後は、私も微力ながら林業大学校の応援団の一人でありたいと考えておりますので、皆様方におかれましても、変わらぬ御支援をいただきますようお願いいたします。2年間本当にありがとうございました。

お世話になります

新校長 柴田 繁

5月1日付けで、京都府立林業大学校第3代校長を拜命しました、柴田 繁（しばた しげる）と申します。3年ぶりに本校に戻ってまいりました。

この間、卒業生が各地で頑張っている姿を見るにつけ、森林・林業教育を担う本校の責任の大きさを実感したところです。

本校は、2012年(平成24年)4月に開校し、今年4月に10周年を迎えることが出来ました。これもひとえに、府内森林・林業・木材業関係者や地域の皆様の御協力あってのことと、心より感謝いたしております。

「自然を尊敬できる人間を育てたい」という教育理念に基づき、森林・林業の第一線で活躍出来る人材や地域活動を支える公共人材、林業事業体の経営力の向上を支える人材の育成に、今後とも取り組んでまいりますので、引き続き、御協力、御支援をよろしくお願いいたします。